



第2回乳幼児の絵本体験を問う：
乳幼児は絵本をどのように体験しているか

指定討論

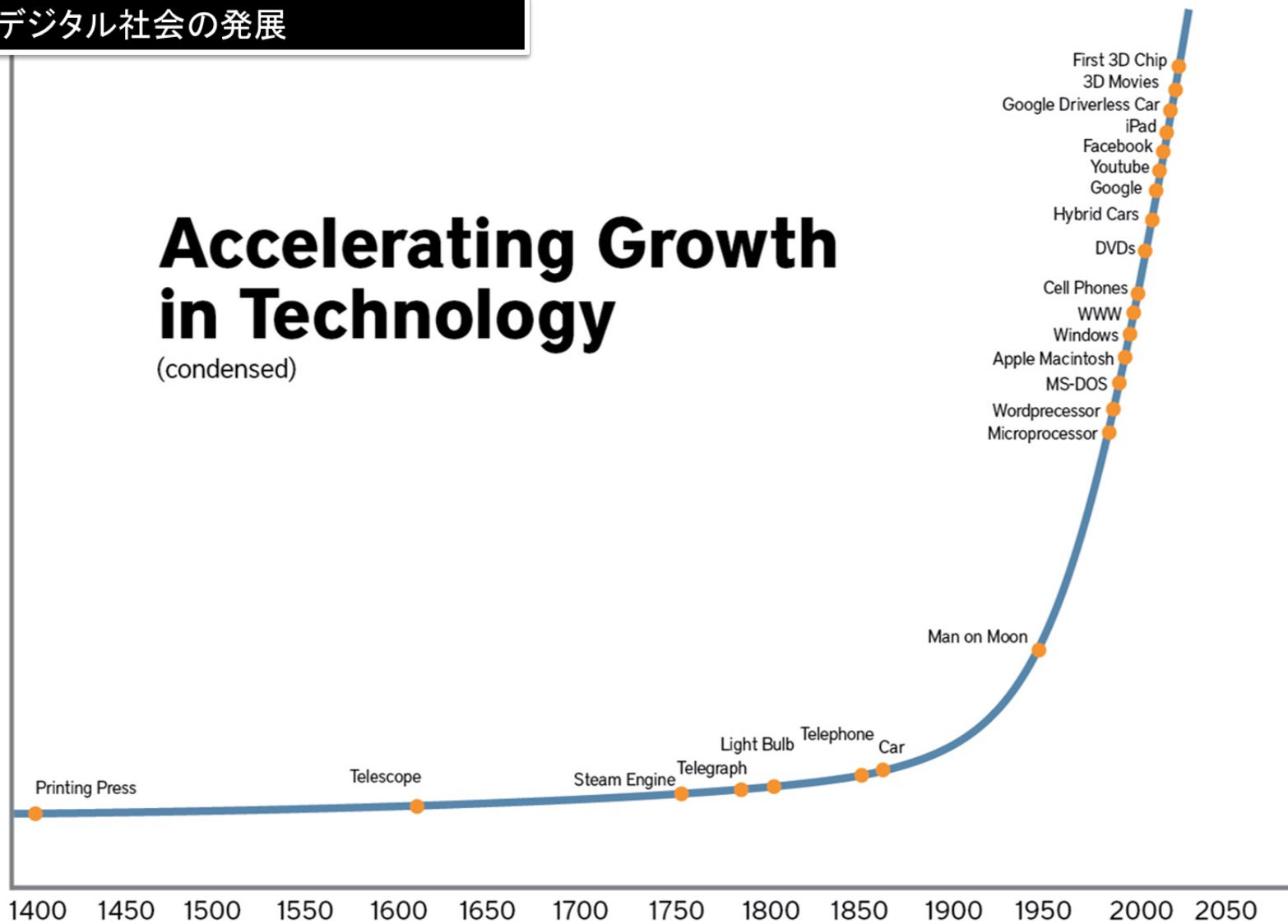
秋田喜代美（学習院大学）

CEDEP 絵本・本は社会文化的な活動 エコシステムアプローチ



Accelerating Growth in Technology

(condensed)



デジタルネイティブの子どもたちに何が 必要か？



あらためて対面での紙の絵本の共有の価値が問われる

子どものデジタルメディアの権利保障

2021.3 発表 読みの主体としての子ども

- ▶ 国連子どもの権利委員会の「デジタル環境との関連における子どもの権利」
https://www.unicef.or.jp/jcu-cms/media-contents/2020/12/JP_Comments-for-Draft-General-Comment-No25-Childrens-rights-in-relation-to-th
- ▶ 子どもの声をきいてほしい、おとなと子どもと一緒に考える機会を
- ▶ デジタル世界への導入は慎重に
- ▶ インターネット・スマホの使い方やリスクを小さいうちから教えてほしい
- ▶ より安全で子どもにやさしいネット環境をつくってほしい
- ▶ ネット利用を自分でコントロールしやすい機能を開発してほしい
- ▶ ネット以外で安心して過ごせる居場所がほしい
- ▶ ネットでトラブルに遭う前に気づいてほしい
- ▶ 家庭で一緒にルールを決めてほしい
- ▶ おとなも詳しくなって、見本になってほしい
- ▶ 私たちも行動します



子供の読む権利

Children's Rights to Read (国際リテラシー学会 : ILA, 2018:若林、2020発表資料から

1. 子供は、読む**基本的な人権**を有しています。
2. 子供は、印刷またはデジタル形式の文書に**アクセス**する権利を有しています。
3. 子供は、何を読むか**選ぶ**権利を有しています。
4. 子供は、自分たちの経験や言語を**反映する**文書を読む権利を有し、他者の人生への**窓**を開き、我々の多様な世界への**ドア**を開く権利を有しています。
5. 子供は、**楽しみ**のために読む権利を有しています。
6. 子供は、知識と読み書き能力を持った識字パートナーとの**協力的な**読書環境を持つ権利を有しています。
7. 子供は、読む他にも十分な**時間**を持つ権利を持っています。
8. 子供は、読むことによって学んだことをローカルまたはグローバルに他者と**共有**する権利を有しています。
9. 子供は、読むことを書く、話す、および視覚的に表現するなどの他の形式の**コミュニケーション**のきっかけする権利を有しています。
10. 子供は、官公庁および、読み書き指導を**支援**する組織から経済的および物質的な援助を受ける権利を有しています。

紙だけでなくデジタルメディアにもアクセスできる

(周囲の大人が多様な本・絵本を用意したうえで子どもが) 読むものを自分で選べる



佐藤さんへのコメントと 質問

ブックスタートのグローバルネットワークの中での日本のプレゼンスの指摘

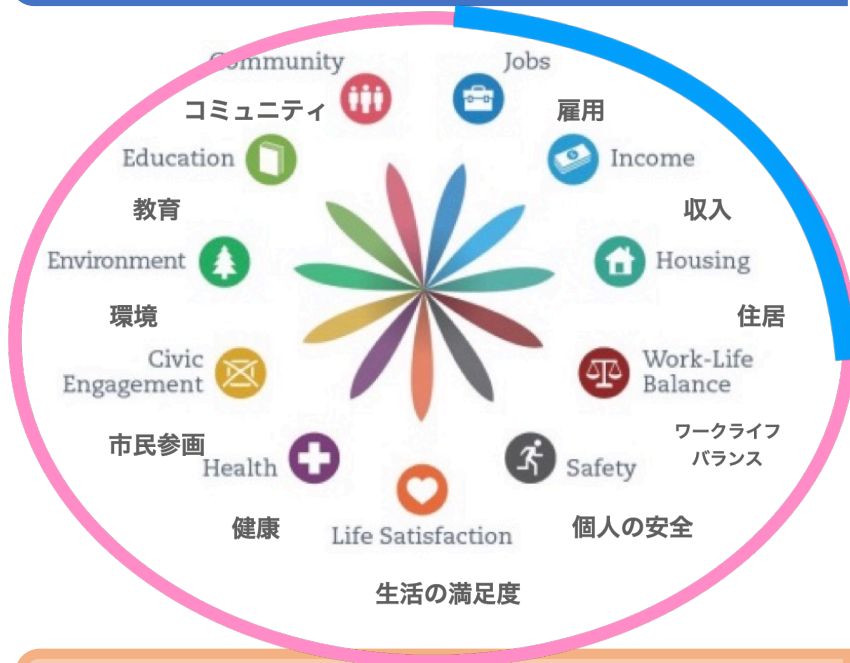
- 日本の独自の価値としてのWELLBEING
- 子ども、保護者、参画者の幸せ

ブックスタートの大きな意味

大人の市民参画による文化の継承と創造

個人のウェルビーイングと社会のウェルビーイングの実現

物質的な豊か



生活の質の豊かさ Quality of Life

個人のwell-being

社会のwell-being



包括的な資本の概念へ

- 経済資本
- 人的資本
- 社会資本
- 自然資本

より良い未来創造に向けて、 課題のみえる日本のウェルビーイング指標の例



ワーク・ライフ・バランス

Work-Life Balance

4.6



市民参画
(ルール作り、投票率)

Civic engagement

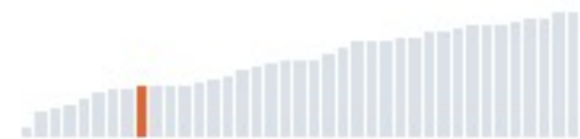
1.9



(主観的) 幸福度

Life Satisfaction

4.1



- Q1 グローバルの中で、国ではなく地域（ローカル）の意味、自律性（自律分散のネットワークモデル）も新たな方向性を示しているのではないか。このあたりは他の国ではどうなのか。
- 少子化の中での各国では地域の固有性とながかり方の在り方はどうか

ネットワークが持つ価値

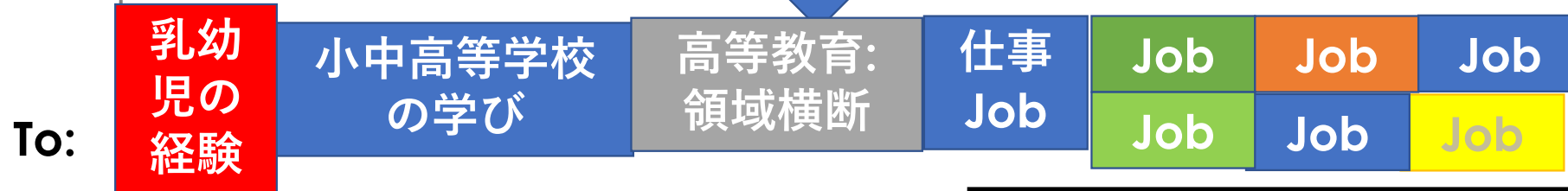
Collective Impact

◦Q2 子どもの発達を考えた時に赤ちゃん以降の絵本との出会いをどのように各国や各地域は支えているのか。特にそこ大事にされている理念は何か？

私個人 Sharing Caring Playing and Learning

資質能力 社会情動的スキル 加速する社会変化の中で生涯に渡るスキルがもとめられる

新たなモデル



大人になってもスキル向上や再技能化
Adult upskilling and reskilling



菅井さんへのコメントと 質問

共同活動の発達

乳児期 0 - 2 歳

- 共同注意（注視）見る
- 指さし 追視・応答
- 身体的な絵本との関わり
- たたく なめる 許す
- めくる 添う
- 話す 聴く

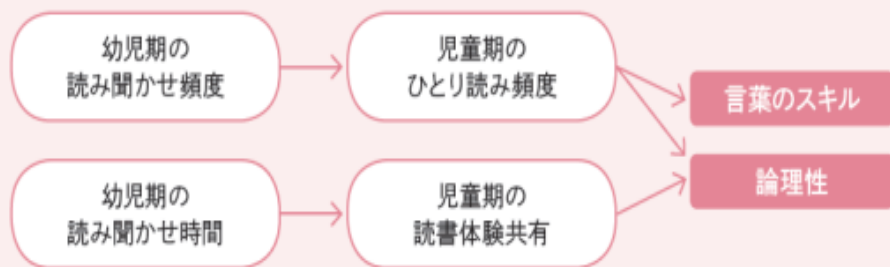
幼児期 3 - 6 歳

- 絵 文 凝視
- 行間を読む 場面間を読む
- 想像世界に身を置く
- 言語的なやりとり 尋ねる
つなげる
- 拡張して世界に浸る 遊ぶ
- 繰り返す

◦Q1 乳児期から幼児期への移行で何に気を付けてどのようなことに注意を払うことが家庭で、また園で大切だろうか？

乳児期に大事にしたい経験、乳幼児期に大事にしたい経験、幼児期にしたい経験

図 幼児期の読み聞かせと児童期の言語発達との関連



本調査からわかったこと

• 幼児期の読み聞かせの頻度が高いほど、児童期のひとり読みの頻度が高まる。そして、児童期の中でも小学4年生以降のひとり読みの頻度の高さは、言葉のスキルや論理性の獲得に影響を与えている。

• 幼児期の読み聞かせで、内容について質問したり、子どもの質問に答えたりするという双方向のやり取りに時間をかけているほど、児童期にも本について保護者と話し合ったり、感想を述べ合ったりするという読書体験を共有する時間が長くなる。そして、児童期の読書体験の共有時間の長さは、論理性の獲得に影響を与えている。

言葉のスキル

筋道を考えて書いたり、漢字を正しく書いたり、段落を意識して書いたりできる力

論理性

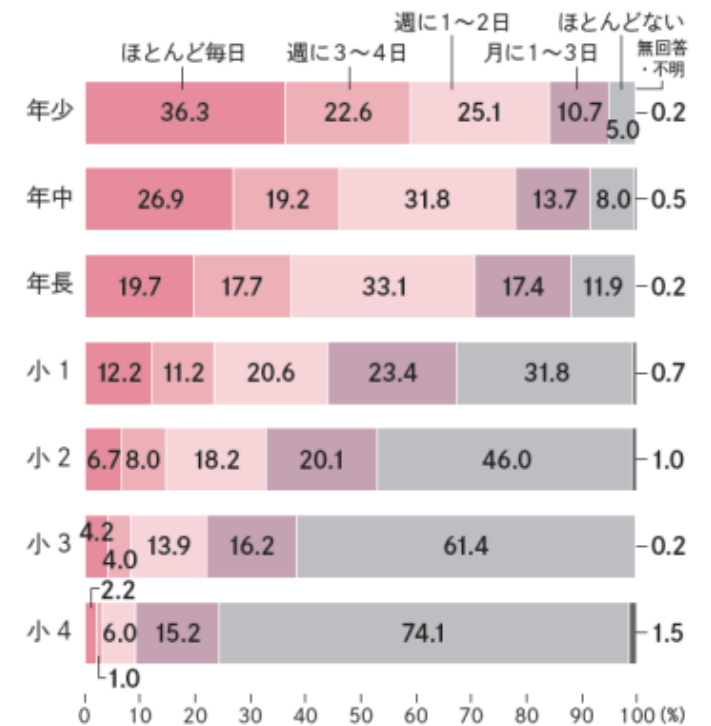
自分の言葉で順序立てて相手にわかるように話せたり、原因と結果のつながりを考えたりする力

2つの言葉の力

*「幼児期から小学生の家庭教育調査」の結果をもとに編集部で作成

1 絵本や本の読み聞かせ頻度

読み聞かせの頻度は、学年とともに低くなる



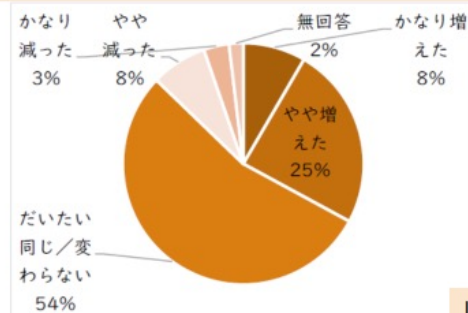
図書館における子どもの居場所の保障

- 。教育格差が拡大しているからこそその公共図書館での乳幼児の場所の持つ意味が大きい。

緊急事態宣言下で、読書時間や読み聞かせ時間が増えた家庭が多い

7. (1の続き)[G] 絵本・本の読み聞かせ] (任意項目)

選択肢	回答数	回答割合
かなり増えた	226	8.4%
やや増えた	656	24.5%
だいたい同じ/変わらない	1454	54.3%
やや減った	201	7.5%
かなり減った	92	3.4%
無回答	50	1.9%
総計	2679	100.0%



13. 12で「増えた」「減った」と答えた方:それはなぜですか?理由を具体的にご記入ください。

- 増えた理由:在宅時間が増えたことにより、室内で外遊び以外の活動を行うため、また、家庭にある本を読み飽きてしまったが図書館で借りることができなかったために、購入する本を増やしたという回答が多かった。
- 減った理由:図書館が利用できなくなったり、外出の自粛や書店やショッピングモール等の休業によって本を買いに行けなくなったりしたことが理由として多く回答されていた。

図書館は園間格差も埋める

2. 調査結果の報告：蔵書数・予算の概算と施設による比較

	1施設あたりの 子ども人数 (単位：人)	1施設あたりの 平均蔵書数 (単位：冊)	子ども一人あたりの 平均蔵書数 (単位：冊)	1施設あたりの 年間予算の平均 (単位：円)	子ども一人あたりの 年間予算の平均 (単位：円)
認可保育所	93.2	718	7.7	59,055	615
幼稚園	119.1	1,465	12.3	71,661	583
認定こども園	132.2	1,311	9.9	76,012	641
小学校	322.7	10,335	32.0	498,000	1,543
中学校	314.8	11,579	36.8	587,000	1,865

※1 小学校・中学校の1施設あたり人数は学校基本調査（令和元年度）における児童・生徒数÷学校数で概算

※2 小学校・中学校の子ども一人あたり平均蔵書数・年間予算の平均値は、全国学校図書館協議会（2019）調査結果における

1校あたりの蔵書数および1校あたりの年間予算を、※1で概算した1校あたりの児童・生徒数で割ったもの

※3 認可保育所、幼稚園、認定こども園における蔵書数および子ども一人あたりの平均蔵書数は以下の方法で算出した概算値である：

蔵書数概算方法…「50冊未満」を25冊、「50-100冊未満」を75冊、「100-300冊未満」を150冊、「300-500冊未満」を400冊、「500-1000冊未満」を750冊、

「1000-1500冊未満」を1250冊、「1500-2000冊未満」を1750冊、「2000冊以上」については具体的な数値の記入がない場合には2000冊、ある場合には

記入された数値を用いた。子ども一人あたりの平均蔵書数計算方法…1施設あたりの平均蔵書数の概算値を、本調査において回答された施設人数の平均値で割ることで算出

※4 認可保育所、幼稚園、認定こども園における年間予算の平均および子ども一人あたりの年間予算の平均値は以下の方法で算出した概算値である：

1施設あたりの年間予算の平均値概算方法…「1万円未満」を5,000円、「1-5万円未満」を25,000円、「5-10万円未満」を75,000円、

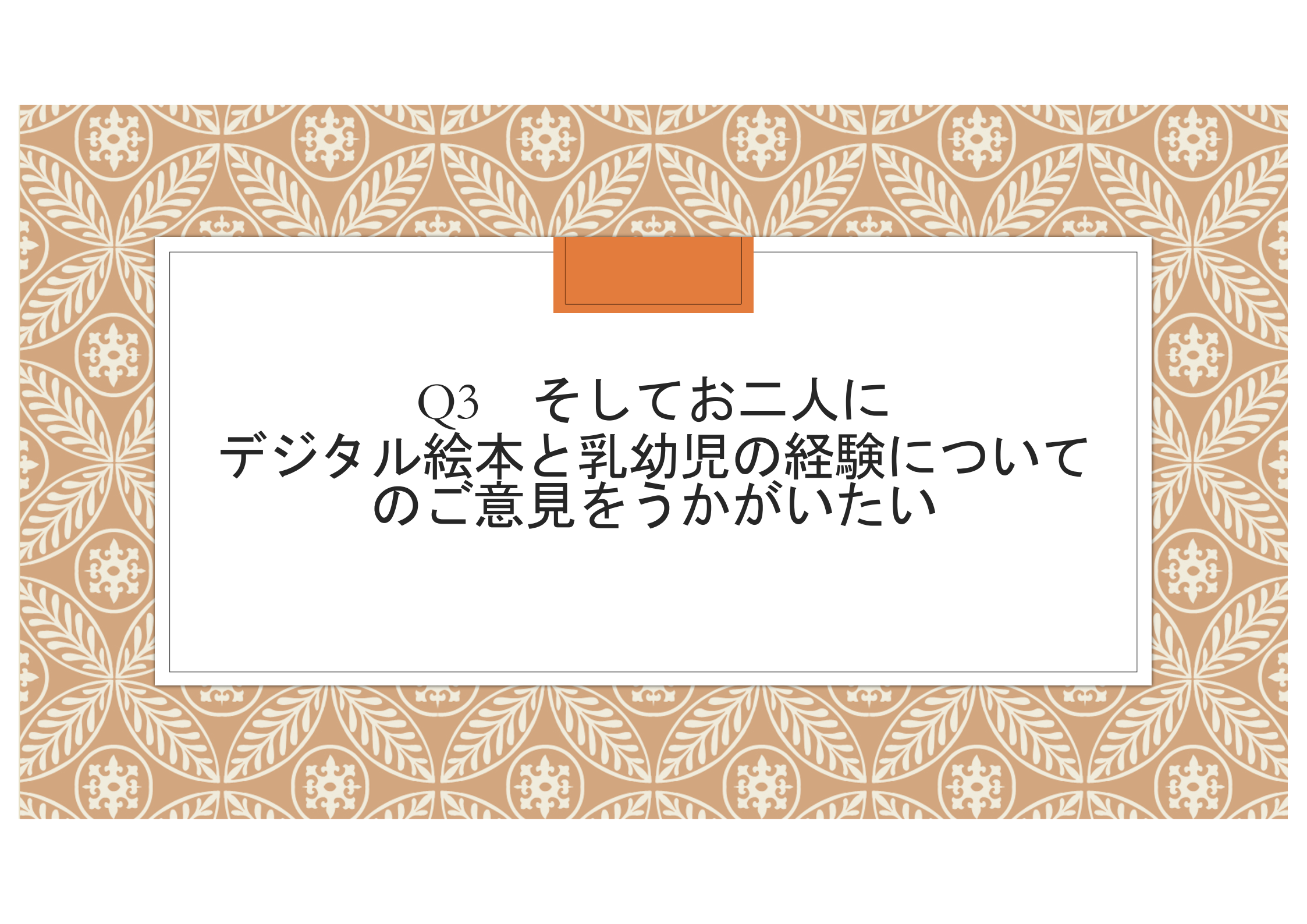
「10-20万円未満」を150,000円、「20-30万円未満」を250,000円、「30万円以上」を300,000円と置き換えて計算した。

子ども一人あたりの年間予算の平均値は、1施設当たりの年間予算の平均値を本調査において回答された施設人数の平均値で割ることで算出

19

◦Q2 今後さらに図書館等公的に
求められることは何か？

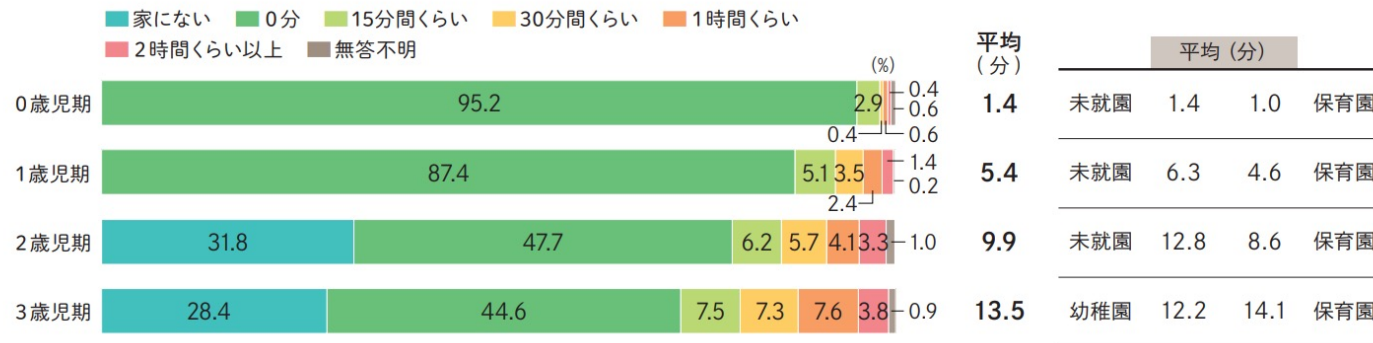
ブックスタート以前、以降
プレパパ・プレママ、家読
子ども食堂や福祉施設等への絵本
プレゼント



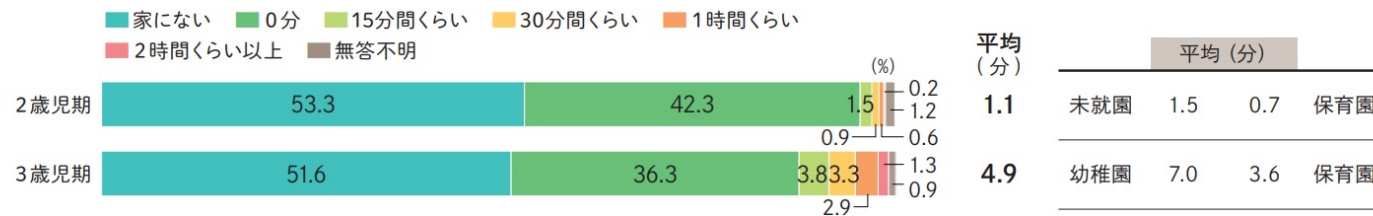
Q3 そしてお二人に
デジタル絵本と乳幼児の経験について
のご意見をうかがいたい

2-3歳時期に変化(ベネッセ & Cedep2021)

タブレット端末 (51iPad など)



ゲーム機 (DS や Switch など)



※母親の回答 ※「家がない」は2~3歳児期のみ ※「2時間くらい以上」は「2時間くらい」+「3時間くらい」+「4時間以上」 ※0歳児期：未就園1,540人、保育園361人、1歳児期：未就園983人、保育園912人、2歳児期：未就園526人、保育園1,024人、3歳児期：幼稚園708人、保育園1,155人

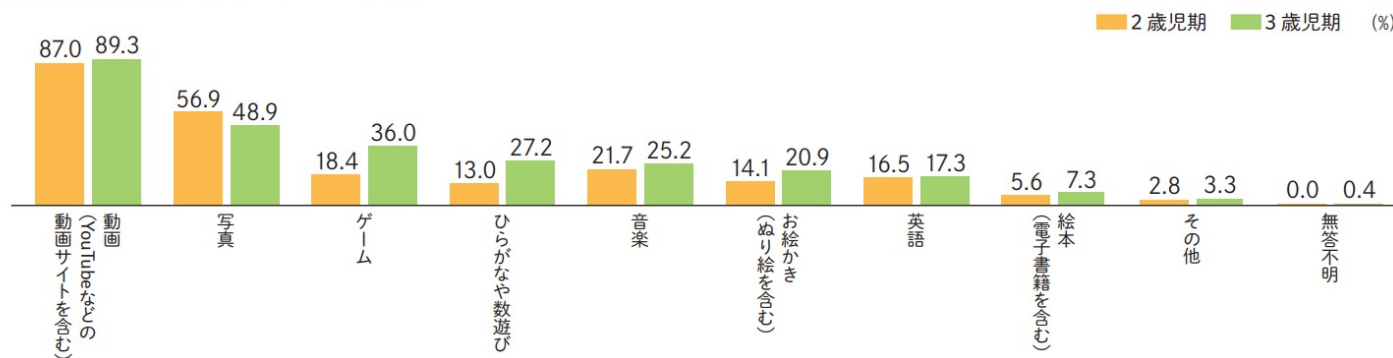
動画が主で電子書籍利用は少ない

2～3歳児期にかけて子どもがメディアを利用する場面が拡がり、
家庭内で設定するルールが増加。

利用するアプリやソフトの種類をみると、「動画」が2歳児期 87.0%、3歳児期 89.3%でもっとも多い。とくに2～3歳児期にかけて「ゲーム」17.6ポイント、「ひらがなや数遊び」14.2ポイントの増加がみられる（図1-4-1）。利用させる理由として、「子どもが使いたがるから」が2歳児期 70.1%、3歳児期 74.2%でもっとも多い。また2～3歳児期にかけて、「公共の場所で子どもが騒がないようにするため」が減少する一方、「子どもが楽しめるから」は増加する（図1-4-2）。利用時の家庭内でのルールについて、時間や方法、使い方に関する項目が2～3歳児期にかけて増加し、子どもの成長にしたがってルールが設定されていく様子がわかる（図1-4-3）。

Q 対象のお子様のデジタルメディア（スマートフォンやタブレット端末。テレビと接続する場合も含む）の利用についてお聞きます。

図1-4-1 利用アプリやソフトの種類



※母親の回答 ※スマートフォン、タブレット端末を利用している家庭のみ ※複数回答



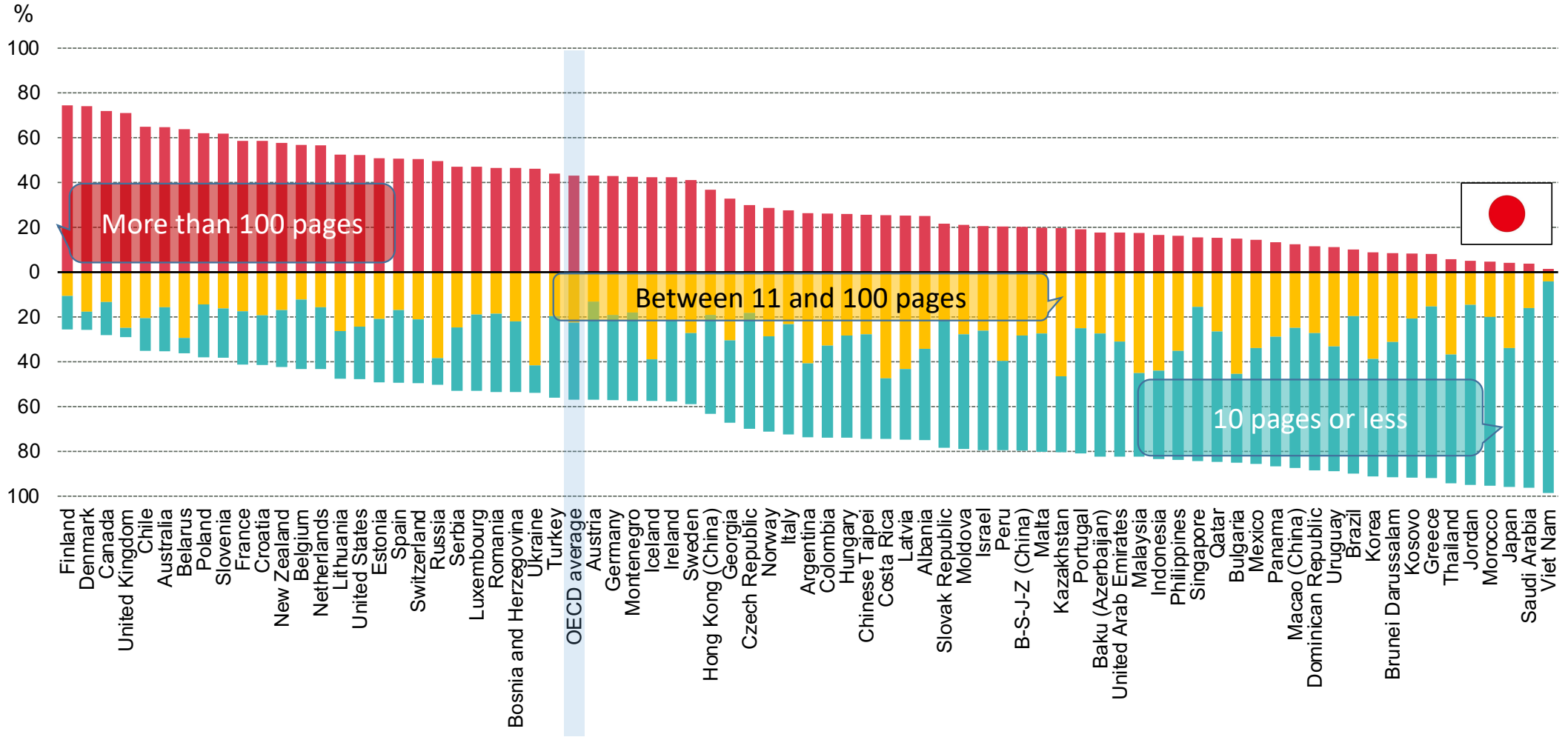
より長期の将来を見通すなら
Reading long text



Length of the longest piece of text that students had to read for school

日本の15歳は学校で読む文章量が参加国中最低水準

Fig 6.5





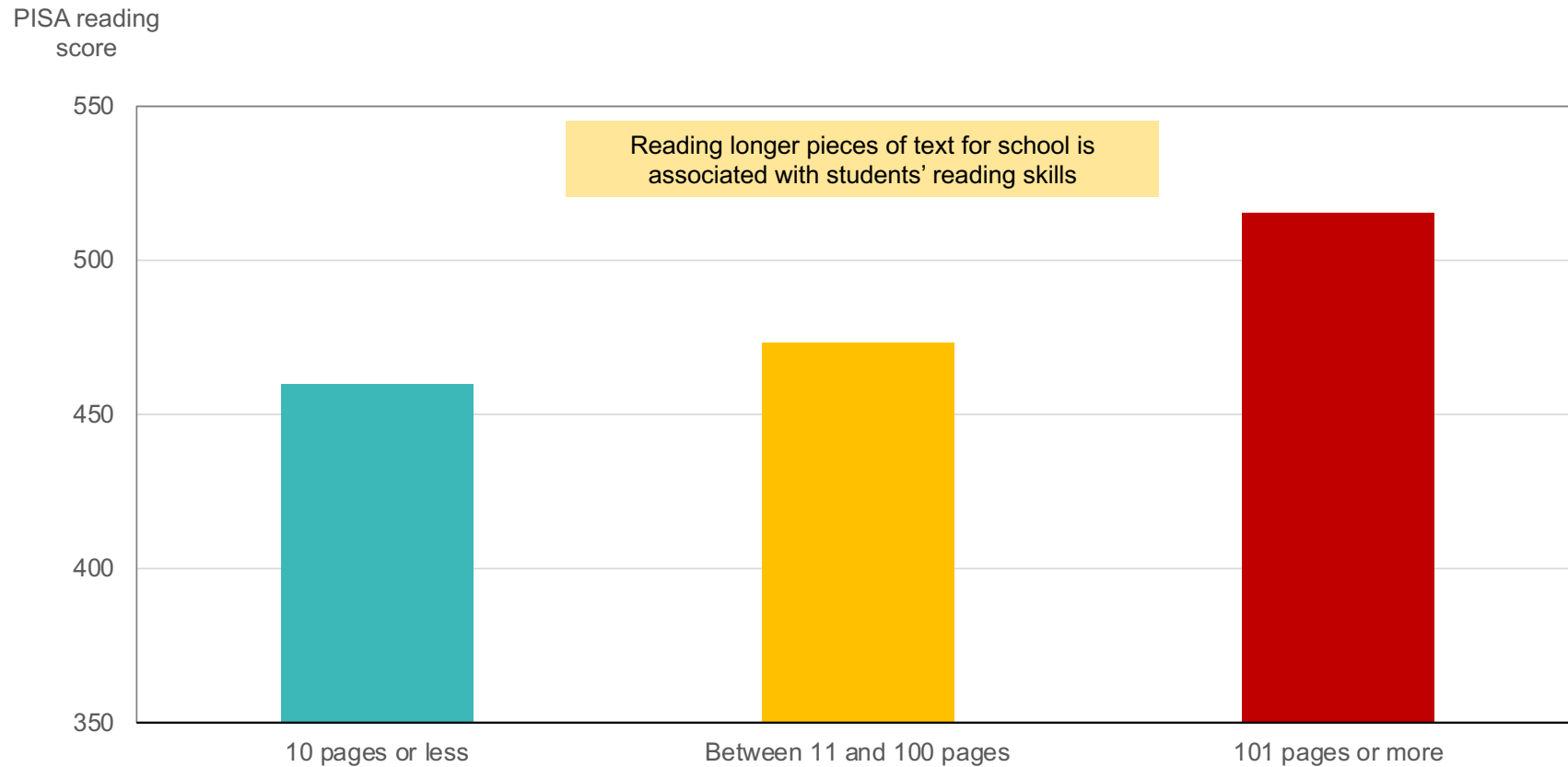
Reading performance, by the length of text read for school

読む量と読解力は関係する。

日本の生徒の今後は大丈夫か？

OECD average

Fig 6.6



おわりに：これまでもこれからも絵本の 価値 ネットワークによる支援の意義

情動的なつながり 絵本 時間 場の共有

主体性 対話 相互性

知的な世界への拡張 対象世界としての
本 想像世界の経験 忘れられない絵
本・本との出会い

自己の形成 生き方を支える言葉や絵と
の出会い